

# 認知症介護基礎研修とは？

～対象者や研修内容・免除の条件について～

## 【2024年に義務化】認知症介護基礎研修

超高齢化社会の深刻化に伴い、介護現場における認知症患者への対応力向上は、サービスの質の底上げや利用者本人の尊厳の保持に関わる重要な課題です。

こうした課題に対する施策の一環として、2021年度の介護報酬改定では、

介護に携わる職員のうち、医療・福祉関係の資格を有さない無資格者について、

**認知症介護基礎研修の受講が義務化**されます。

## ■ 認知症介護基礎研修の義務化、経過措置期間は？

**2024年4月1日より義務化**

2021年～2023年までの3年間は経過措置期間とされ、  
研修の受講に対する取り組みは努力義務として位置づけられます。

## 『認知症介護基礎研修』とは？

認知症の人への介護に求められる**基本的な理解や対応方法**を習得するための研修です。

認知症介護基礎研修は、2015年に策定された「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」にもとづき、将来における認知症患者の増加に対応するべく創設されました。

厚生労働省は、将来的には、

**介護に携わるすべての職員が認知症介護基礎研修を受講し、認知症介護の基礎的知識を持つことを目標にしています**

(研修にかかる時間)

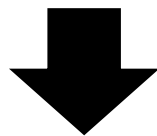
## ■ 認知症介護基礎研修

講義3時間 + 演習3時間 計6時間

認知症介護基礎研修の受講手続きや費用は、実施する自治体・団体によって異なります。

研修方法についても、研修会場に集合して研修を受ける集合形式や、e-ラーニングを使った通信形式など様々です。

カリキュラム事例紹介



## ■ 認知症介護研究・研修センター

### 認知症介護基礎研修(カリキュラム)

講義	1. 認知症の人を取り巻く現状
	2. 認知症の人を理解するために必要な基礎的知識
	3. 具体的なケアを提供する時の判断基準となる考え方
	4. 認知症ケアの基礎的技術に関する知識
演習	1. 認知症の人との基本的なコミュニケーションの方法
	2. 不適切なケアの理解と回避方法
	3. 病態・症状等を理解したケアの選択
	4. 行動・心理症状(BPSD)を理解したケアの選択と工夫
	5. 自事業所の状況や自身のこれまでのケアの振り返り

計6時間

(引用: [認知症介護研究・研修センター「認知症介護基礎研修シラバス」](#))

## ■ 義務化の対象外となる職種

看護師、准看護師、介護福祉士、介護支援専門員、実務者研修修了者、  
介護職員初任者研修修了者、生活援助従事者修了者、  
介護職員基礎研修課程修了者、訪問介護員養成研修1級課程・2級課程修了者、  
社会福祉士、医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、  
精神保健福祉士、管理栄養士、栄養士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、  
きゅう師、柔道整復師

# 義務化の対象外について②

## ■ 対象外研修

- ・養成施設及び福祉系高校で認知症に係る科目を受講したが介護福祉士資格は有していない者

(養成施設については卒業証明書及び履修科目証明書により、事業所及び自治体が認知症に係る科目を受講していることが確認できることが条件)

- ・認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修、認知症介護指導者研修等の認知症の介護等に係る研修を修了した者

- ・人員配置基準上、従業者の員数として算定される従業者以外の者や、わる可能性がない者



## ■ 義務化の対象となる事例

・認知症サポーター-養成講座の修了者は対象外とならない。

・従業員の員数として算定される従業者であって直接介護に携  
わる可能性がある者については、  
在留資格にかかわらず、義務づけの対象となる。

(EPA介護福祉士、在留資格「介護」等の医療・福祉関係の有資格者を除く)

### ■ 新入社員への対応・猶予期間

新規採用・中途採用を問わず、事業所が新たに採用した職員については、**採用後1年間の猶予期間**が設けられます。

事業所は当該職員を採用後、1年以内に研修を受講させる必要があります。